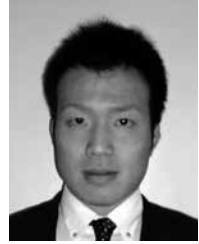


## 報 恩 感 謝

北区 日進小学校 教諭 藤原 亮 太



「失敗は成功のもと」、私の尊敬する父がよく口にする言葉であり、座右の銘としてきた言葉だ。しかし、今年度より初任者として新しい職場にお世話になり痛切に感じたことは、失敗は決して許されるものではないということだ。今までの私は、失敗の連続、数々の失敗を繰り返してきた。しかし、その度に、いつも多くの方々に支えられ、励まされながら現在に至っている。

4月、私は、希望と不安を抱きながら赴任先の学校の教壇に立った。とても緊張していたことを今でも覚えている。全てのことに関心を持って取り組もうと思い、日々を過ごしていたが、大きな失敗や小さな失敗など数々の失敗をした。朝、学校に行くことが億劫に感じることもあった。しかし、校長先生、教頭先生、学年の先生方はその都度、相談を聞いてくださり、私を励ましてくれた。「気にしちゃダメだよ。」「これも勉強だよ。」とたくさんの先生方が声を掛けてくれた。そのおかげもあり、また自分なりに考えていくうちに、心につかえていたものが徐々に薄らいでいった。あの時のことを思い出すと、今でも感謝の気持ちでいっぱいになる。

学校研修では、校内の先生方に様々な面でお世話になった。忙しいのにもかかわらず授業を公開していただいた先生や授業等での悩みを聞いてくださった先生、私のつまらない質問にも事細かに丁寧に答えてくださった先生。しかも、指導していただく一つ一つが新鮮で驚くものばかりだった。そんなかっこいい頼りになる先生になるため

に、私は、教師としての専門性をさらに高めることが大切だと改めて感じた。「教師は授業で勝負する」という思いを忘れずに、今後とも研修に励んでいきたい。そして、それを子どもへ還元しなければと強く思う。

子どもたちには、たくさんのパワーをもらった。「長縄が跳べるようになったよ。」「最近、算数が楽しい。」「漢字練習がんばってきたよ。」など、子どもたちの成長を感じ、学校で楽しく過ごしている子どもたちの様子を目の当たりにする。また、保護者の方々から、家で学校の様子を話す子どもの話を聞くことは私のモチベーションを高めるものの一つになっている。これからも多くの子どもたちの成長を見届けていけたらと思う。

「失敗は成功のもと」という言葉は、現在でも座右の銘として心の中に生きている。そして、それは、周りの方々の温かい支えによって成り立っているということを改めて感じ、日々を過ごしている。私は、初任者として教職に就いたばかりだ。経験値は少なく、分からないことだらけ。さらには、学年の先生方の足を引っ張ることもしばしば。しかし、温かく見守ってくださる先生方が職場にはたくさんいる。そのため、毎日とても楽しく勤務することができている。私もいつか先輩と呼ばれる立場になった際、アドバイスはできなくても、じっくり悩みを聞くことができる存在になりたい。ゆっくり、焦らず、失敗をしながらも、少しずつ子どもとともに成長をしていきたい。